

平成25年度 同好会事業報告

総合的な学習考える会 同好会 世話係名 花形 敏郎 会長名 竹前 研一

月 日	実施した事業内容	参加人員
7月31日	染め紙作りの実習と野を歩き、昆虫・植物についての学習会	16名

本同好会では、今年度も、地域に根ざした生活科及び総合的な学習の時間の実践に生かせる研修を目指し、教師自身が上高井の自然や文化・歴史の良さを実感しながら、地域素材を掘り起こしたり、情報交換したりできる会にするという理念を大切に進めて参りました。

活動の一端を紹介します。

☆その一…そめ紙を作ろう

豊丘小学校を会場として、そめ紙に挑戦しました。まず、朝顔・マリーゴールド・ブドウ等を鍋で煮ます。そしてミョウバンを入れます。その後、和紙を入れてそめ紙を作ります。徐々に美しい色に変化してきます。身近な植物で和紙が、あのような美しい色に変化することに感動しました。また、その和紙を使って灯籠作りに挑戦した会員もいました。火をつけると、本当にあたたかな灯がともり、すてきな空間ができました。

☆その二…野を歩く

夏休みの夏期講習で、信州大学農学部地域コーディネーターの酒巻裕三先生と信州昆虫学会の小野寺宏文さんを講師に招いて、鎌田山で自然観察会を行いました。酒巻先生からは、実際に草花を手に取り、その特徴を教えてくださいました。また、小野寺先生からは、昆虫を捕まえて、虫の特性や飼い方などを教えてくださいました。講師の先生方と共に歩き、野を歩くことの楽しさを、みんなが感じることできるすてきな時間になりました。

さて、子どもたちと生活科や総合的な学習の時間を過ごす中で、どれほど私たち教師は、子どもたちと共に感動の時を過ごせているのでしょうか。実際に体験すると感動の時間を多く感じられます。そして感動の中にこそ本当の学びがあるとも感じます。日々の実践に生かせる良い研修ができました。

(会長 竹前 研一)